



令和2年11月2日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第19号

第1回校長面談を行いました

今年度の入試は、1月13日（水）に行われる呉港高等学校（普通科）を皮切りに始まります。入試では個人面接や集団面接が行われますので、3年生は面接に向けての学習を行っています。10月20日（火）には校長が面接官となって第1回校長面談を行いました。

「本校を志望した理由を教えてください。」「中学校3年間で最も頑張ったことは何ですか。」「本校に入学したら何を頑張りたいですか。」などについて質問しました。

生徒たちは事前に考えていた内容を踏まえて、一生懸命誠実に答えようと頑張っていました。質問に対して、自分の考えが明確で自分自身が腑に落ちている部分については、自らの言葉で語るができるので想いや熱意は伝わってくるのですが、何となく答えている部分は物足りなく感じました。

今後も自分の進路について考え続けることによって、自分の考えは明確になってモチベーションも高まり、更に受験勉強にも熱が入ってきます。

12月15日（火）には第2回校長面談を予定していますので、「絶対に合格するんだ。」という想いや熱意が伝わってくることを願っています。期待しています。



呉港高校の先生に面接指導をしていただきました

10月27日（火）、呉港高等学校から松本 政乗 教頭先生、広報部 羽根 誠一先生に講師として来校していただき、面接指導をしていただきました。以前から呉港高等学

校の先生にはご来校いただき、入試当日の面接を想定して指導していただいています。

校内での練習においても生徒は緊張感をもって真摯に取り組んでいますが、今回は実際に呉港高等学校の先生が面接官になっていただいたため、本番さながらの面接となりました。

3～4名のグループ面接の形式で行い、2名の面接官の先生には多くの質問をしていただきました。「中学校で頑張ったことは何ですか。」「自己PRをしてください。」「高校生活で頑張りたいことは何ですか。」「最近読んだ本は何ですか。」などの質問に対して丁寧に返答していました。全体的には良く練習されていて、とても良かったという感想もいただきましたが、今後更に高いレベルにしていくためのアドバイスをいただきました。

①最初のあいさつを含めてもっと大きな声を出して、元気の良さや熱意を伝えること。

②予期していない質問に対しては、柔軟に対応し、簡潔に必要なことを答えること。

呉港高等学校の先生には、もう一回、12月4日（金）に面接指導していただきます。

そのときには、前述の①②のアドバイスをしっかりクリアして、今回以上に自分の考えを分かりやすく、かつ、熱意を伝えてください。期待しています。



放課後学習頑張っています

先月の12日（月）から、3年生は放課後の時間を利用して放課後学習に取り組んでいます。放課後学習を希望する生徒が都合の良い日の16時10分から16時50分の40分間取り組んでいます。国語・社会・数学・理科・英語の5教科を各教科の先生が、自作プリント、新研究、授業用ワークなどを使って指導しています。

理科の学習の時には、過去の公立高校の入試問題を解き、自己採点を行った後、岡崎先生が解説をしていました。

過去の問題を解くことは、入試対策として非常に有効です。特に、同じ問題を繰り返し何回も解くことは学力を伸ばすとともに、自信を付けることにもつながります。2月末まで放課後学習は行いますので、公立高校選抜Ⅱ入試【3月8日（月）～3月9日（火）】に向けて継続していきましょう。「継続は力なり」です。

